

「塩竈市水道事業基本計画(素案)」のパブリックコメント実施結果について

1. 意見の募集期間 平成22年12月14日(火)～平成22年12月27日(月)
2. 意見の件数 意見提出者 2名 件数 6件
3. パブリックコメントでいただいたご意見及び水道部の考え方

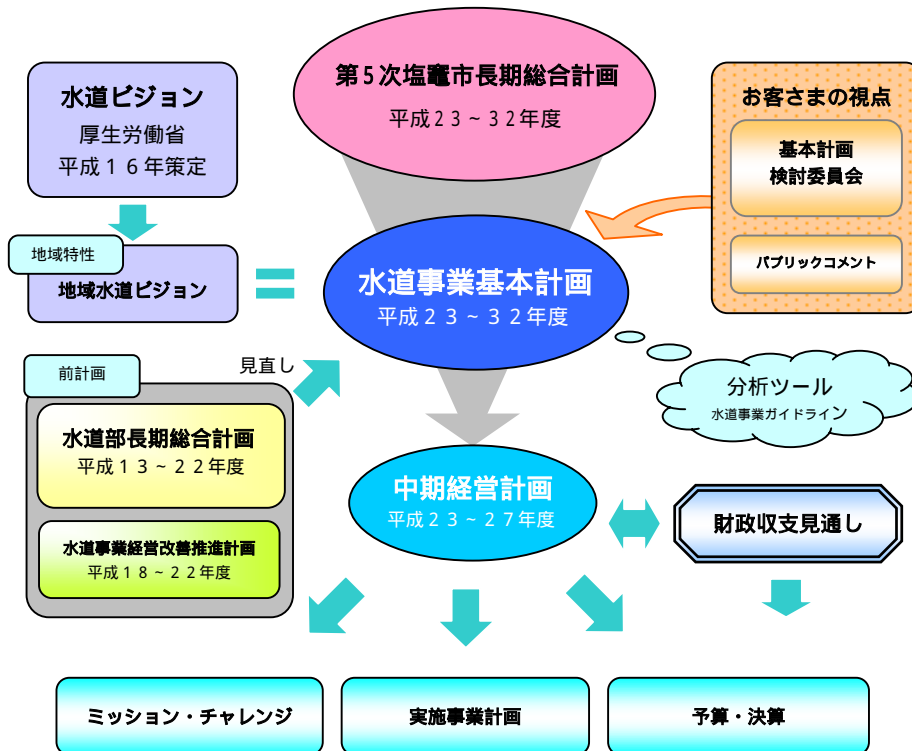
寄せられたご意見(1-1)

第5次塩竈市長期総合計画基本構想との関係について、大変重要な部分を共有する文言として、一部欠落しているのではないかと。例えば、人口や配水量、料金収入などの現状把握や今後の予測、平成18年に策定された「水道事業経営改善推進計画」の取り組み実績の分析が不足しているのではないかと。

水道部の考え方

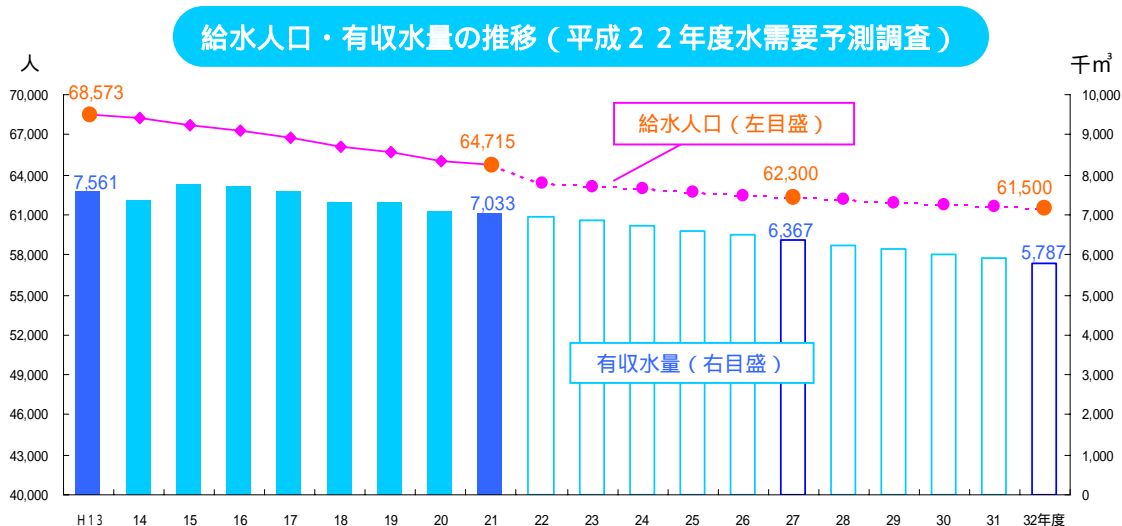
水道事業基本計画の位置づけ

本計画は、平成23年度からの第5次塩竈市長期総合計画を実現するため、水道部門の個別計画として、また、地域水道ビジョンとして策定するものです。



給水人口・有収水量の現状と今後の予測

本計画では、第5次長期総合計画における将来人口（平成32年 55,000人）を基礎としながら、将来給水人口（塩竈市+多賀城市の一部）を予測しています。給水人口・水需要の減少傾向は今後も続くものと見込まれ、それに伴い料金収入も減少していくことが予測されます。



水道事業経営改善推進計画の取り組み実績

水道事業経営改善推進計画（平成18年度～平成22年度）は、「水道部長期総合計画（平成13年度～平成22年度）」のより具体的な実施計画として、近隣市町において最も安価で、安全・安心なおいしい水を今後も安定的に供給することを基本に、全68項目の改善に取り組んできました。

A. 主な取り組み内容

【健全経営の確保（経営の効率化）】

直営修繕業務や穿孔業務の民間移行、OA機器の導入や組織見直しによる職員定数の削減、特殊勤務手当等の見直しなど。

【安定給水の確保】

効率的かつ効果的な有収率向上対策の実施、梅の宮浄水場管理棟の耐震化工事の実施、災害時初動対応マニュアルの策定など。

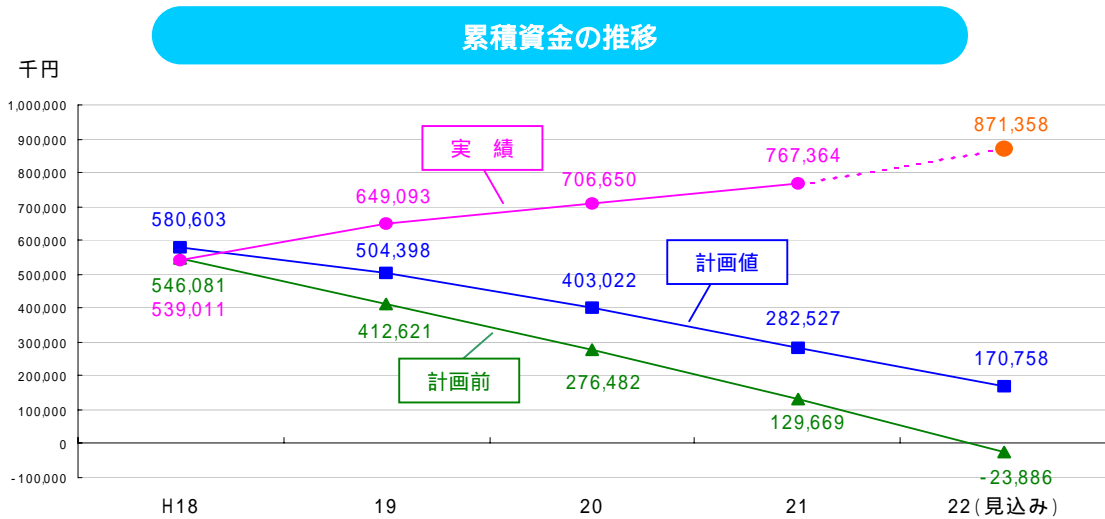
【安価な水の提供】

梅の宮浄水場の消費電力の抑制、浄水発生活泥及び建設副産物の100%リサイクルによる環境負荷や経費の低減、老朽管更新事業などの国庫補助金の活用・起債借入額の抑制など。

【安全で安心できる水の供給】

水源清掃活動に毎年参加、鉛製給水管更新工事の推進や直結給水方式拡大に向けた調査・指導の実施、独自広報誌やホームページ・ケーブルテレビなどによる水道事業に関する正しい情報の提供、コンビニ納入システムの導入など。

B. 財政への効果



水道事業経営改善推進計画による取り組みは、計画した多くの項目で目標を達成し、平成9年度の料金改定以降、低廉な水道料金を維持しながら財政基盤の強化を図り、安定給水の持続と経営の健全化を推進することができました。

その結果として、平成22年度には枯渇すると予測されていた累積資金は、8億7千万円を確保できる見込みとなっています。

なお、「水道事業経営改善推進計画」の毎年度の取組状況は、水道部ホームページにおいて公表しており、現在継続実施中の項目については、今回の「塩竈市水道事業基本計画」へ引き継いでいくこととしています。

ご意見への対応

ご意見の内容については、本計画の「計画の策定趣旨」及び「計画の位置づけ」、「現状と課題」において示すとともに、本計画のより具体的な計画である「塩竈市水道事業中期経営計画」の中で、グラフなどを用いながら理解しやすいように示していきます。

寄せられたご意見(1 - 2)

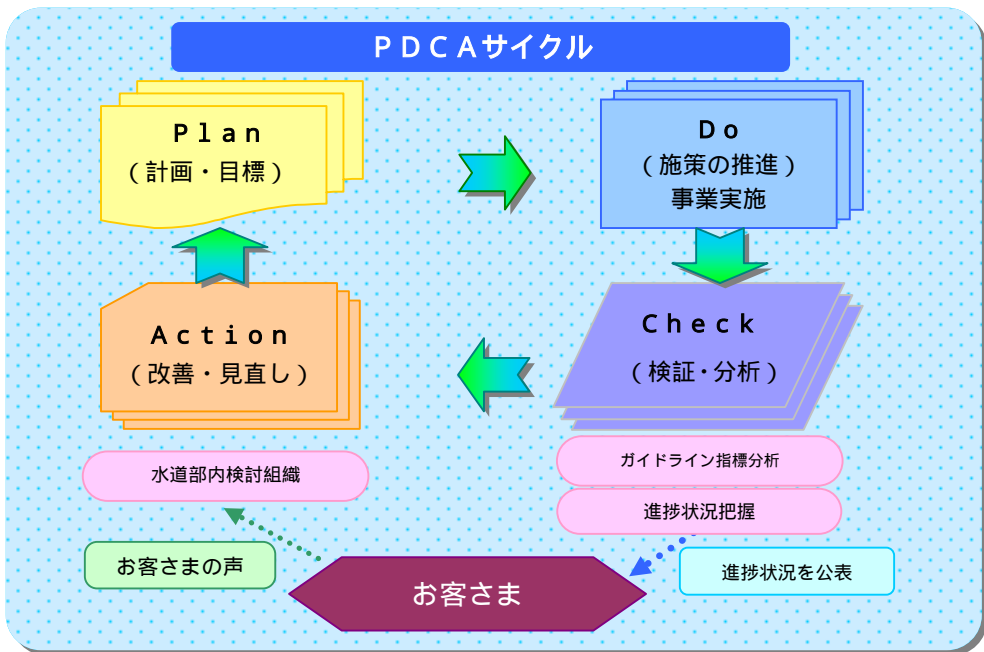
また、第5次塩竈市長期総合計画を基礎としながら、基本目標4「運営基盤の強化と低廉な水の供給」の(1)効率的事業運営と財政基盤の強化、(2)組織の効率化、(3)人材の育成と技術の継承に関する年度計画数値及びグラフを作成することで、具体的に推進していく指標となるのではないかと。

水道部の考え方

収入面では給水人口の減少などにより料金収入の減少が見込まれる一方、支出面では老朽施設の更新や水道施設の耐震化など、多額の費用が見込まれることから、今後も厳しい経営環境は続くものと予測されます。

本計画では、健全な財政状況を維持し、計画的かつ効率的な事業運営を推進するため、5カ年の「塩竈市水道事業中期経営計画」を策定し、民間的な経営手法の積極的な導入、水道施設規模の見直しや維持管理費の縮減に努めるとともに、水道事業ガイドラインの業務指標の分析・評価などを踏まえながら、財政基盤の強化に取り組むこととしています。

なお、各施策の実施期間・実施内容に基づいた個別事業を設定し、財政収支見通しとの整合を図りながら進行管理を行うこととしており、計画の進捗状況が客観的に評価できるように、できる限り年度ごとの計画指標を示していきます。



ご意見への対応

ご意見の内容については、本計画のより具体的な計画である「塩竈市水道事業中期経営計画」の中で、グラフなどを用いながら理解しやすいように示していきます。

寄せられたご意見(1 - 3)

今後、水道利用者として懸念されることは、
人口減少に伴う水道料金の増額改定
水道施設の維持管理や老朽施設の更新・整備に伴う水道料金の増額改定
などが考えられるが、将来人口の減少が大きな要因であるため、本市の人口動態をどの
ように把握し、数字に反映できるかが問われているのではないかと思います。

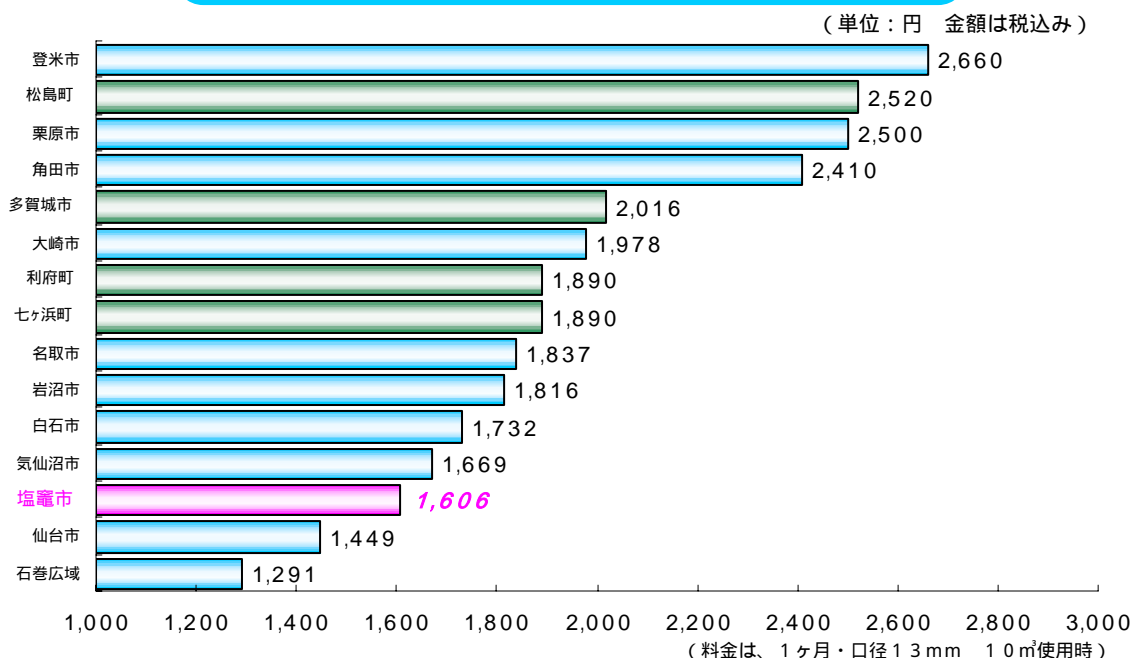
水道部の考え方・ご意見への対応

将来人口の減少は、本市としても大きな課題であると捉えています。

現在策定を進めている第5次塩竈市長期総合計画では、10年後(平成32年度)の人口を55,000人と設定し、重点戦略として「定住」「交流」「連携」を掲げ、市全体の事業の中で定住人口の増加に取り組んでいくこととしています。

また、人口減少による水需要・料金収入の減少、老朽化施設の改良・更新に係る財源確保は、水道事業経営にあたっての大きな課題であることから、今後の水需要の推移や財政収支見通しについての分析を常に行いながら事業運営に反映し、更なる事業運営の効率化・財政基盤の強化を図ることにより、今後も低廉な水の供給に努めていきます。

近隣12市及び近隣市町水道料金比較表(平成21年度末現在)



寄せられたご意見(2 - 1)

逡増型料金体系では、一般家庭では尚更節水に心がけると思います。

水道部の考え方・ご意見への対応

逡増型料金体系は、水道の建設拡張期における生活用水料金の低減と大幅な水需要の増を抑制するため、多くの事業者が採用してきました。近年、水道が全国的に普及し、水需要が横ばいから減少に移行していることなどから、全国的に逡増型料金体系の見直しについて検討の動きが出てきています。

本計画においても、基本目標4「運営基盤の強化と低廉な水の供給」の中で、今後の水道施設の維持更新期における負担の公平性や水需要の低迷、地場産業の活性化などの観点から、これからの水道料金体系のあるべき姿について検討していきます。

寄せられたご意見(2 - 2)

電力の広報では、冬季にお風呂の残り湯を沸かすよりも、新たに湯を入れ直した方が電気料金は安いとありました。このことは、電力会社にも水道にもメリットがあることで、このような情報提供が必要であると思います。

水道部の考え方・ご意見への対応

本市水道事業では、水道部独自の広報誌やホームページ、シオンちゃん水道教室などにより、お客さまへの情報提供に取り組んできました。

ご意見の内容については、本計画の基本目標5「お客さまサービスの充実」の中で、水道に関する正しい情報やお客さまが知りたい情報を、より分かりやすく正確に伝えることを基本としながら、更に一歩進んだ広報・広聴事業の展開を検討していきます。

シオンちゃん水道教室



出前講座



寄せられたご意見(2 - 3)

しおがまの水道水(ペットボトル水)はモニター用として製造したものでしょうか？
(最近では、観光地や高速道路のサービスエリアなどで売られています。藻塩と一緒に販売するような観光地サービスを行ってはどうか。)

水道部の考え方・ご意見への対応

しおがまの水道水(ペットボトル水)は、水道事業への理解と水道水のイメージアップ、災害に備えた備蓄水の啓蒙、塩竈市の観光の活性化などを目的として平成20年度に製造し、水道関連のイベントや「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」において無料配布を行い、塩竈の水道水のおいしさをPRしたものです。

しおがまの水道水(ペットボトル水)については、販売用も含めて製造の予定はしておりませんが、本計画の基本目標5「お客さまサービスの充実」の中で、今後も水道水のイメージアップ、おいしさのPRにつながる事業展開を検討していきます。

しおがまの水道水

